

エネルギー 地域循環型の まちづくりを目指して



ゆとりっち稲穂太陽光発電所

町では、町民の暮らしを守り、安定的で自立したエネルギーを確保し、持続可能なまちづくりを目指すため「再生可能エネルギー」の活用や「省エネルギー化」を推進しています。

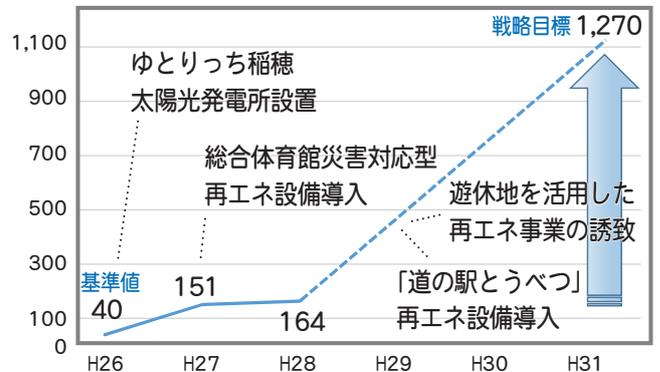
平成16年3月には「当別町地域新エネルギービジョン」を、平成27年10月には「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。総合戦略では、「エネルギー地域分散型都市の形成」を基本目標のひとつに掲げ、さまざまなプロジェクトを実施しています。平成28年3月には、再生可能エネルギーを活用したまちづくりを加速させるため、「再生可能エネルギー活用推進条例」を制定しました。

＜当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略 エネルギー地域分散型都市の形成で掲げた数値目標＞

指標名	基準値 (H26)	戦略目標 (H31)
再生可能エネルギーによる二酸化炭素排出削減量	40t CO ₂ /年	1,270t CO ₂ /年

※国民一人当たりの二酸化炭素排出量は約2.3t CO₂/年（家庭部門）で、戦略目標1,270t CO₂/年は550人分の削減を目指しています。

※参考 H27年度に総合体育館に導入した再生可能エネルギー設備（太陽光発電、木質バイオマスボイラー、LED照明）で、年間約160tのCO₂が削減可能です。



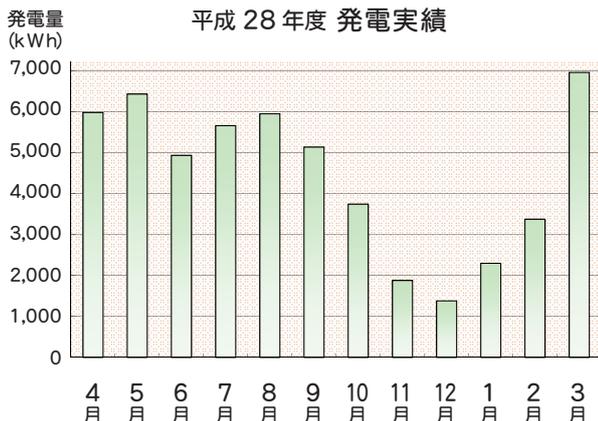
再生可能エネルギーによる二酸化炭素排出削減量推移
(単位：t CO₂/年)

これまでの主な取り組み

◆ 「ゆとりっち稲穂太陽光発電所」の設置 (設置者: ene・BUS コンソーシアム)

(有)下段モータースと連携し、平成26年度に太陽光発電所(48kW)を設置。発電した電気を固定価格買取制度(FIT)により売電し、その収益を「当別ふれあいバス」の運行経費の一部に充てています。

ゆとりっち稲穂太陽光発電所
平成28年度 発電実績



◆ 当別町総合体育館災害対応型 再生可能エネルギー等導入促進事業

町最大級の避難所である「当別町総合体育館」に、災害時でも対応可能な太陽光発電システムや木質バイオマスボイラーなどを導入しました。



今年度の取り組み

9月にオープンした「北欧の風 道の駅とうべつ」に再生可能エネルギーを活用した設備を導入したほか、本年度は町に豊富な森林資源を木質バイオマスとして有効活用するため、町有材による木質ペレット製造実証事業を行うなど、エネルギーの地域循環型のまちづくりの取り組みを進めています。



◆ 「北欧の風 道の駅とうべつ」への再生可能エネルギー設備導入

道の駅では地中熱ヒートポンプを採用し、ほぼ全館の冷暖房をまかなっています。

また、木質バイオマス勉強会やセミナーの講師などでご支援いただいている北海道新エネルギー普及促進協会（NEPA）から、官民挙げての町の取り組みに共感・賛同をいただき、ご寄附いただいたペレットストーブを道の駅に設置しました。

<導入した設備>

- 地中熱ヒートポンプシステム※
- 木質ペレットストーブ
- 雪氷熱を活用した野菜保冷庫



※地中熱ヒートポンプシステムとは、地中の熱を「ヒートポンプ」という機器で増幅させ、効率的に冷暖房や給湯に利用するシステム。

このように戦略目標の達成に向け、さまざまな取り組みを進めていますが、目標の達成のためには官民挙げた取り組みが必要です。更なる再生可能エネルギー活用に向けご協力をお願いします。

以上のような再生可能エネルギーの取組と並行して、省エネの取組も進めるため、町民参加による「エネチャレンジ事業」を実施しています。

◆ 町有林を活用した木質ペレット製造実証事業

町の豊富な森林資源の活用を目指す一環として、北海道立総合研究機構林産試験場の指導のもと、町有材から木質ペレットを製造しました。木質ペレットに一般的に使われるマツなどの針葉樹のほかにも、カバやホウノキなどの広葉樹、針葉樹と広葉樹をブレンドしたものなど、さまざまな樹種でペレットが製造可能であることが実証されました。今後も引き続き、町の森林を活用したペレットなどのバイオマス燃料の製造や有効活用に向けた検討を進めていきます。



ペレットを製造する機械「ペレタイザー」におが粉を投入している様子。

◆ 遊休地を活用した再エネ事業の誘致

町の遊休地を活用し、日通商事株式会社が蔵岱地区で建設を進めていたメガソーラーが平成29年4月に完成し稼働しました。発電規模は2カ所合計で約1,200kWと町内最大の発電所です。今後も遊休地などを活用した事業誘致に取り組んでいきます。



「エネチャレンジ事業」は、10月～12月までの電気使用量の削減量を競う「一般部門」と夏休みや冬休み期間中の子どもたちの省エネ・節電の取組を募集する「キッズ部門」の2部門があります。「一般部門」は現在実施期間中ですが、終了後に所定の用紙を提出する形式のため、今からでも参加が可能です。家電の買い替えなどで電力使用量が大きく削減している場合もありますので、次のページをご覧ください。ぜひご参加ください。

★ エネチャレンジ事業【一般部門】の概要

一般部門は、「家庭の今年の10月分から12月分の電力使用量の合計と、昨年の10月分から12月分の電力使用量の合計を比べて、その削減量を競う」部門です！

※検針期間は検針日によって前後しますが、10月分であれば、概ね9月中旬から10月中旬です。

※昨年の電力使用量は、今年の検針票に「前年同月分」として記載されている場合があります。

家庭で省エネ・節電
を実践！



検針票で電力使用量を確認し
実施報告書に記入！

	電力使用料 (kWh)	
	今年	昨年
10月分	80	100
11月分	100	150
12月分	150	200
合計	330	450
昨年よりも120 kWh 削減！		

締切までに実施報告書を提出。
削減量に応じて景品ゲット！



■参加特典

電力使用量の削減量が最も多かった方を「最優秀賞」、2・3番目に多かった方を「優秀賞」として表彰します！さらに参加者の中から抽選で50名の方に「エネチャレンジ賞」を贈呈します。

一般部門	人数	贈呈品
最優秀賞	1名	当別町地産地消セット2品※
優秀賞	2名	当別町地産地消セット1品※
エネチャレンジ賞	抽選で50名	当別玄米リゾットセット

※当別町ふるさと納税の通常記念品からお好きなものを選択できます。(品切れの場合はご容赦ください。)

■応募について

応募締切	平成30年1月15日(月)まで(郵送の場合は必着)
応募方法	『当別町エネチャレンジ(町民節電所)事業実施報告書』に必要事項を記入の上、今年と昨年の10月分から12月分の検針票の写しを添付。応募先に持参、郵送、ファックスまたはメールで提出してください。実施報告書は、町ホームページからダウンロードするか、役場エネルギー推進室窓口備え付けのものをご使用ください。 ※今年の検針票に昨年の電力使用量が「前年同月分」として記載されている場合は、昨年の検針票は必要ありません。
応募・問合せ先	当別町役場 経済部エネルギー推進室エネルギー推進係 住所：〒061-0292 当別町白樺町58番地9 電話：27-5089(直通) メール：energy@town.tobetsu.hokkaido.jp ファックス：23-3206
その他	町ホームページに特設ページがあります。「当別町 エネチャレンジ」で検索！

★【キッズ部門(キッズ・エネチャレンジ)】の概要

「キッズ・エネチャレンジ」は子どもたちに生活のなかで、「地球温暖化」を防ぎ、地球と家計にやさしい取り組みをするにはどうしたらよいか考え、自ら実践してもらう事業です。

参加したお子さん全員に参加賞が当たるほか、入賞者にはエネルギーに関するグッズなどを贈呈します！

詳しくは、冬休み前に学校で配布するチラシをご確認ください。

